

有 珠 山 の 噴 火 史

年 代	休止期間	前兆地震 継続時間	活動期間	噴火 地点	噴 出 物 等	生じた 山体等	災 害 等
1663 (寛永3)	106年	3日	不明	山頂	軽石・火山灰 火砕サージ	小有珠	家屋埋没・焼失 死者5名
1769 (明和5)		不明	不明	山頂	軽石・火山灰 火砕流		南東麓の家屋焼失
1822 (文政5)	52年	3日	不明	山頂	軽石・火山灰 火砕流	オガリ山	火砕流で南西麓の集落全滅、 死者50名、負傷者多数
1853 (嘉永6)	31年	10日	不明	山頂	軽石・火山灰 火砕流	大有珠	住民避難
1910 (明治43)	57年	6日	明治43年7月19日 ～10月 (約3ヶ月)	北麓	火山灰 火山泥流	明治新山	山林・耕地に被害、 泥流で死者1名
1943～45 (昭和18～20)	33年	6か月	昭和18年12月28日 ～20年11月頃 (約2年)	東麓	火山灰 火砕サージ	昭和新山	家屋破損・焼失、農作物被害、 死者1名
1977～78 (昭和52～53)	32年	32時間	昭和52年8月6日 ～53年10月27日 (約1年)	山頂	軽石・火山灰 二次泥流	有珠新山	市街地・耕地・山林等に被害、 死者・行方不明3名

※ 活動期間：顕著な活動が始まったときから静穏（地震がある一定以下に減少など）となったときまでの期間